

「カオス」

滋賀銀行 常務取締役 兎玉 伸一



桜咲き、草木の新緑が鮮やかな季節となり、早くも新年度が始まりました。しかし、取り巻く情勢は不安と先行き不透明感がさらに高まるなど、まさに「カオス(混沌)」の様相を呈しています。

海外情勢を見ますと、中国経済の減速と利上げに端を発した米国経済の動向、原油安などの資源安に伴う新興国経済の落ち込みが深刻の度を深めております。加えて北朝鮮、テロ、中東問題など、数々の地政学的リスクが増大しています。

一方、国内情勢は、リスクオフに伴う円高懸念により自動車をはじめとした輸出企業への影響や史上初の「マイナス金利」の導入に伴う市場の混乱が続いております。

このように、マクロ情勢が不安定な状況では、判断の基準がいくつもの要因に分かれ、先行き不安から、ややもすると消極的になっ

り、的確な企業行動に支障をきたしかねません。一見、合理性があるかのようなもっともな理由や根拠をことさら見つけ、問題先送りやリスクテイクを回避する雰囲気には陥りがちです。

米国の経営学者P. F.ドラッカーは、まず何よりも変化を脅威ではなく、好機としてとらえなければならない、と指摘しているように「カオス」を受け入れるポジティブ思考が大切です。そして「孤独な経営者」にとって、信頼のおける良き相談相手が必要ではないでしょうか。

「マイナス金利」旋風が吹き荒れる金融界ではありますが、あるべき地域金融機関の役割を全うすることを今こそ肝に銘じ、良き相談相手としての評価と信頼を得られるよう、精進すべきと改めて思う次第であります。

引き続きのご愛顧をお願い申し上げます。

しがぎん
TOPICS

「三重支店」2月22日オープン！

～三重法人営業部を支店へ昇格～

当行は2月22日、三重法人営業部を支店昇格し、「三重支店」を開設いたしました。

三重法人営業部は、2008年6月土山支店内に開設され、10年6月四日市市に移転。おかげをもちまして、順調に業績を拡大しており、開設7年8カ月での支店昇格となりました。

三重支店は、三重県内を営業エリアとする法人特化型店舗として、ソリューション営業を展開し、地域の事業者の皆さまに対するコンサルティングサービスの提供に努めてまいります。

当行は、16年4月からスタートした第6次中期経営計画(期間:3年)で「マーケット特性と時流に応じた店舗機能の見直し」を掲げ、今後も地域密着型金融のさらなる機能強化を目指し、役割に応じた店舗展開を進めてまいります。



オープンを記念してテープカットする、大道会長、岡支店長、今井常務(左より)